



ENY ニュース

「エコペン」は、山形県地球温暖化防止活動推進センターのマスコットキャラクターです。

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

〒990-2421 山形県山形市上桜田 3-2-37

TEL : 023-679-3340 FAX : 023-679-3389

E-mail : eny@chive.ocn.ne.jp WEB : https://eny.jp/

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

デコ活
くらしの中のエコろがけ

「ゼロカーボンシティ推進シンポジウム in 米沢」の開催

令和7年11月30日(日)に、米沢市のグランドホクヨウにて「ゼロカーボンシティ推進シンポジウム in 米沢」が米沢市主催で開催されました。(環境ネットやまがたは事務局を務めました)

米沢市は、飯豊町との共同で、環境省脱炭素先行地域に令和7年5月に選ばれました。脱炭素先行地域とは、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域で、「実行の脱炭素ミノ」のモデルとなるものです。山形県内では、米沢市・飯豊町の「米沢×飯豊発！米沢牛と地域連携で挑む肉用牛バイオガス発電モデル 2.0による脱炭素への道」が初めて選ばれました。

本シンポジウムでは、第1部として、気象予報士・気象防災アドバイザーである兵頭 哲二様から「地球温暖化の過去と未来、世界から山形まで」と題して講演いただき、また、環境省 地域脱炭素推進審議官の中尾 豊様から「温暖化を食い止めるため 国や地域、市民はどんな対策をしたらいいのか」と題してご講演いただきました。兵頭様からは、地球温暖化によって世界や山形でどんな影響があるのか、これから先の予測なども含め、分かりやすくお話しいただきました。また、中尾様からは、地球温暖化を防止するため国ではどんな対策を実施しているか、デコ活など私たちはどんなことをする必要のあるのかを具体的にお話しいただきました。

そして、第2部は、「2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて」をテーマとして、トークセッションを行いました。東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科の三浦 秀一教授をコーディネーターとしてお迎えし、講師のお二人に加え、近藤 洋介米沢市長にも登壇いただきました。

米沢市では、ゼロカーボンシティ宣言を行っています。市民、事業者、行政などがそれぞれの立場でどのような取組ができるか、また国として米沢市に期待していること、普及啓発だけでなく実際に行動する人を増やすにはどうしたらいいのかなど各登壇者からお話しいただきました。

2030年、2050年に向け、これまで以上に対策の急加速が求められています。環境ネットやまがた、山形県地球温暖化防止活動推進センターも山形県や市町村と連携し、これからも積極的な活動を進めていきます。

- 4 質の高い教育をみんなに
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 17 パートナースhipで目標を達成しよう



山形県産業科学館 令和7年度事業トピックス

in 産業科学館

ロボットと遊ぼう!!

産業用ロボット

工場で働くロボットを動かしてみよう!

日時: 3/20(金)~3/22(日)
各日 10:30~17:00

場所: 4階 発明工房

プログラミング体験 **あめ玉キャッチャー**

対象年齢: 小学3年生以上
1枠30分の予約制

予約抽選受付中 → 

受付期間: 3/4 (水) まで

何個ゲットできるかな?
各日、先着500人限定!

※予約不要

動物ロボット

最新のAIを搭載した
かわいい動物ロボットとふれあおう!

日時: 3/20(金), 21(土)
各日 10:30~17:00

場所: 2階 フリースペース

※予約不要



ご注意

- ・プログラミング体験の予約4枠は、3/9(月)を目途にご予約いただきます。
- ・抽選は飲食店です。優勝しあめ玉はお家に帰ってからお楽しみください。
- ・※動物ロボットは、新です。当日は変更となる場合があります。

お問合せ先

山形県産業科学館
産業技術イノベーション課
産業科学技術政策課
☎023-630-2368

今年度の集客数は、2月末日まで既に20万人を越え、3月末日には21万人を越えることが、ほぼ確実な状況となりました。その背景には、毎週末チャレンジコーナーにて開催しているワークショップ(78回)や、「高校生による科学体験教室」、「レーザークラフト体験」、「ミニ四駆教室」、「ドローンプログラミング教室」、「トイレールフェスティバル」、「親子で学ぶGW 科学まつり」、そして県内に工場を持つ企業からご支援いただいた「香りつき石鹸を作ってみよう」などの各種企画事業(33回)の他、協賛事業(14回)、自主事業(3回)、団体工作(30回)など、今後も継続事業となりうる、充実した内容のイベントを開催できたこと、そして3月20日~22日の期間限定イベントとして「産業用ロボットプログラミング体験とあめ玉キャッチャー」、3月20日、21日の両日「動物ロボット触れ合い体験」の実施など、県民のニーズに応えられるよう、工夫しながら日々努力してきた成果とも言えるのではないのでしょうか。

また新年度からは、山形大学発人工衛星プロジェクト「ベニバナサット」の関連展示も始まる予定となっており、計画の全貌を県民の皆様にお伝えできる場所ともなります。山形県産業科学館の進化はまだまだ止まりません。

山形県産業科学館からのお願い ～ボランティアの募集～

募集中

山形県産業科学館では、より親しみやすい施設にするため、県民のみなさまに運営面でのご協力をいただいております。

そこでこの度、子どもたちなど来館者への展示品の案内をする「ガイドボランティア」、科学イベントやワークショップに対応する「たんけん科学ランド相談員」を募集いたします。

ご興味のある方や、活動の詳細については山形県産業科学館 担当:金澤 までお問い合わせください。

○山形県産業科学館
山形県山形市城南町一丁目1-1 霞城セントラル内
電話 023-647-0771

山形県学生環境ボランティア (やまかボ・サポーター)インスタグラムの開設

「ゼロカーボンやまがた2050」達成のため、山形県内の大学等に通うメンバーが集まって活動しています。

SNS では、活動の様子や山形の環境問題の現状、日常生活で実践できる身近な取り組みなどを紹介していきます!

Instagram 始めました。
ぜひ、フォローを
お願いします!!



～ 山形県環境科学研究センターでの活動について ～

山形県環境科学研究センター環境情報棟の管理運営を行うとともに、環境教育の普及促進業務を実施しました。今年度も、将来を担う小学生を第一のターゲットとして「小学校向け環境教育」を拡充することにチャレンジしてみました。昨年度は計97件(41校)に対して、今年度は計99件(52校)の実績がありました。

(見通し)

		H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07
派遣 (参加者数)	アドバイザー派遣	833	875	1,142	142	311	628	426	576	433
	推進員派遣	1,841	2,483	2,454	570	848	667	1,184	1,226	825
	環境教室(派遣)	1,758	3,426	2,504	2,259	3,199	4,263	4,058	5,394	5,469
来館者数	環境教室(所内)	378	283	339	428	509	543	339	489	370
	利用、見学、研修	1,139	865	982	829	360	457	527	532	353
合計		5,949	7,932	7,421	4,228	5,227	6,558	6,534	8,217	7,450

コロナ コロナ コロナ

小学校向けの件数 ⇒ 21 27 37 54 65 83 80 97 98

エコアクション 21 事業について

令和 7 年度も東北 6 県での普及啓発・広報事業や認証登録事業者のフォローアップ等を行いました。2026 年 3 月時点での全国の認証・登録事業所数は 7,539 件、この内、環境ネットやまがたでの認証・登録事業所数は 345 件でした。

審査員力量向上研修会の開催や認証登録事業者向けのフォローアップセミナー(岩手県、宮城県)の実施に加え、新規事業所取得に向けた普及推進セミナーや各県の地球温暖化防止活動推進センターと連携した環境マネジメントシステム普及推進セミナーを開催しました。また、環境フェア等への出展・パネル展示や関係団体への訪問も行い、東北 6 県すべてで活動を行うことが出来ました。認証登録事業所へのアドバイザー派遣や、毎月第三金曜日に開催した個別相談会など、北海道・東北の事業所からの問い合わせへの対応やフォローアップについても実施しました。

令和 8 年度も引き続き、認証登録事業者のフォローアップ、

東北 6 県での普及啓発活動を行なっています。



「カーボンニュートラル推進セミナー」(福島県)の様子

山形県環境保全協議会事業について

① 森林整備活動 (9 月 27 日(土) 参加者 113 名)

酒田市飯森山西地区保安林の森林整備活動と研修会を実施しました。当日は、東北エプソン様の社員を中心に、113 名と多くの方からご参加いただきました。研修会では山形大学農学部食料生命環境学科エコサイエンスコース准教授 菊池 俊一様から「海岸林 庄内の暮らしをまもるグリーンインフラ」と題してご講演いただきました。



② 視察研修会(11 月 18 日(火) 参加者 22 名)

令和 7 年度山形県環境保全推進賞知事賞受賞されました、アイジー工業株式会社 寒河江工場様と、三井屋工業株式会社 東北事業部様(米沢市)を見学しました。



省エネプラットフォーム事業「省エネお助け隊」について

令和 7 年度も終わり、令和 8 年度を迎えようとしています。本事業は 1 月末で終了しました。省エネ支援の目標を 21 件としておりましたが、18 件の実施にとどまり、思うような結果は出せませんでした。

今年になって、ホルムズ海峡の閉鎖による原油の供給が滞る事態となり、今後、ガソリンの値上げや石油製品の値上げだけでなく、様々なものに影響を与えることが考えられます。そのような中、省エネルギーの推進は、無駄なエネルギーを削減し、その削減されたエネルギーに係るコストは 100%利益になりますので、企業にとっても有益なことです。大変な時だからこそ省エネルギーが必要ですし、これを実践することで企業のカーボンニュートラルの推進に寄与できます。

「省エネお助け隊は」山形県内の中小企業の皆様の省エネルギーについて専門家を派遣して、省エネルギーを推進するものです。専門家が省エネ診断を実施して様々な省エネルギーにつながる提案を行います。提案には、運用に関する投資が必要ない提案と、設備を更新することで省エネを図る提案を行っています。設備更新の提案では可能な限り、投資回収年数まで報告書に記載しておりますので、企業経営にとって、大変参考になる資料になります。

また現在、次々と省エネ性能の向上した設備が開発されています。これらの設備を活用することでより省エネルギーにつながり、また、国の補助金の対象になっております。

今年度から新たにIT診断が含まれましたが、補助金を活用する上での現状のエネルギー使用状況を計測することや、どこでどのくらいエネルギーを使用しているのか系統ごとに分析するのに役立っております。また、今まで診断を活用してきた企業に対しての伴走支援は、補助金の申請のお手伝いも致しますので、是非ご相談ください。

令和 8 年度も継続して本事業を継続していきますので、省エネルギーを推進してカーボンニュートラルにつなげたい企業がありましたらご紹介いただけると幸いです。私たちは本事業を通じて、山形県の豊かな未来を創造していきたいと思っています。

★リレー企画「会員から一言」★ No.6 田村 泰弘さん(山形市在住)

10 数年前から経験知(土木工学)をもとに山形県の「持続可能な再生可能エネルギーのポテンシャル」の資料収集を始めていた。今では、揚水発電、中小水力発電、風力発電のポテンシャルは高いと認識している。既存のダム(本県には 10 ヶ所)を「下池」に、その貯水量の一部を揚水し周辺の高台に新設する「上池」に溜め、落下させる揚水発電。次に、溜池(本県には4000ヶ所)からの落差高を利用した中小水力発電(東北電力上郷水力発電の落差高は 27 m)。加えて既存のスキー場(本県には 11 ヶ所)の年間平均風速6m/sec 以上を利用した風力発電。ケーブル鉄塔を改造(門型支柱)した垂直型風力発電(マグナス式等)にすれば環境アセスメントは不要となるかも知れません。今はどれかが実現することを期待している日々です。



★スタッフ紹介★ それぞれの活動場所ごとに一言コメントなど。

<山形エコハウス>



(大場事務局長)
新年度から新卒の職員1名が加わります。引き続き、会員、関係者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。



(長岡事務局長)
「省エネお助け隊」の長岡です。省エネのこと何でもご相談ください。



(河合主任)
只今、年中の娘。先日保育園からランドセルのカタログをもらってきました。これが噂の「ラン活」か…

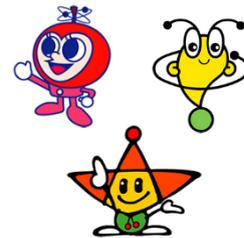


(二藤部主任)
令和7年度は、やらなければならないことが次々と出て来て、色々な方にご迷惑をおかけしました。



(菊地)
来年度もエコアクション21の普及と広報に尽力していきます。

<山形県産業科学館>



館長のもと、合計11名の職員で頑張っています。企画展示やワークショップなど様々な事業を行っていますので、ぜひ遊びに来てください。

<山形県環境科学研究センター 情報棟>



(安藤主任)
これからも環境学習の普及促進頑張ります。



(吉田)
近年の気候の変化に負けないように健康に気を付けたいと思います。

「デコ活」とは

二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む「デコ」と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。『脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動』



入会のご案内

- 正会員：入会金 5 千円、年会費 5 千円
- パートナー会員：年会費 3 千円
- 賛助会員：一口 1 万円で一口以上何口でも可
本 NPO へ入会をご希望の方は事務局までご連絡ください。

♪編集後記♪

令和7年度は忙しく私のマンパワー不足のため、会報誌の発行は年1回となってしまいました。会員の皆様はじめ、令和7年度もお世話になり、ありがとうございました。令和8年度もよろしくお願いたします。(N)

★メルマガ・フェイスブック開設しています★

環境ネットやまがたでは、メルマガ(月1回配信)やフェイスブックでイベントなどの情報を配信しています。メルマガ購読希望の方は以下のアドレスまでご連絡ください。

Email eny@chive.ocn.ne.jp

また、フェイスブックなどではイベント会場などからアップしています。ぜひ、「いいね」をお願いします♪



フェイスブック



インスタグラム

